表１　血中 AMH 濃度レベル別の採卵成績

AMH レベル	農場	頭数	採卵回数	採卵月齢 ±SD	採卵間隔（日） ±SD	回収卵数 ±SD	受精卵数 ±SD	正常卵数 ±SD
L	全農場	25	71	81±44	41±46	9.3±6.7 a	7.6±6.5 a	5.9±5.6 a
M	全農場	66	148	67±34	53±50	15.6±10.6 b	12.5±9.0 b	9.0±7.0 b
H	全農場	31	76	68±26	52±49	24.3±14.2 c	19.4±13.7 c	13.2±9.9 c

a,b,c：異文字は全農場における AMH レベル間の有意差を示す（p<0.05）

表２　GRIA1 型別の採卵成績

GRIA1 型	頭数	採卵回数	回収卵数±SD	受精卵数±SD	正常卵数±SD
AA	14	88	19.3　±11.0 ab	14.9　±9.5 ab	10.6　±8.1 b
AG	78	493	19.7　±12.4 b	15.2　±10.4 b	11.0　±7.4 b
GG	66	427	22.7　±13.3 a	17.9　±12.0 a	13.0　±9.1 a

a,b：異文字間に有意差あり（p<0.05）

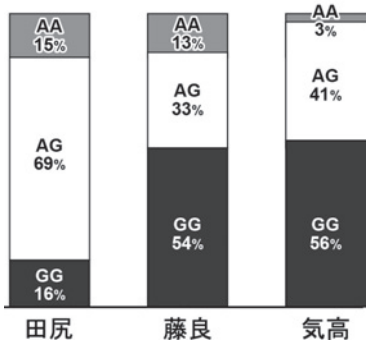

図１　GRIA１型別の採卵成績

表２　Ｄ農場における採卵成績予測を活用した全きょうだいからのドナー牛の選定事例

血縁関係 1)	牛番号	父	AMH 濃度 2)	AMH レベル	GRIA 1 型	選定理由等（採卵成績）
全きょうだい 1	1	勝忠平	0.555	H	AG	産子の肥育成績、AMH 濃度、GRIA1 遺伝子型が全きょうだいよりも良好なためドナー牛に選定（黄体 6 回収 6）。
	2	勝忠平	0.657	H	GG	
全きょうだい 2	3	光平照	0.142	M	AG	受胎中のため、今後の参考とする。
	4	光平照	0.208	M	AG	体型、AMH 濃度、GRIA1 遺伝子型が全きょうだいよりも良好なためドナー牛に選定（黄体 6 回収 3）。
	5	光平照	0.059	L	AA	
全きょうだい 3	6	平茂晴	0.492	H	AG	受胎中のため、今後の参考とする。採卵性からみた優先順位 2
	7	平茂晴	0.098	L	AG	産子の肥育成績を見て判断
	8	平茂晴	0.594	H	GG	産子の肥育成績を見て判断。採卵性からみた優先順位 1
	9	平茂晴	0.066	L	GG	産子の肥育成績を見て判断

1）全きょうだい 1～3 の母は同一牛　　2）ng/ml

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。
道総研畜産試験場　基盤研究部　生物工学グループ　森安　　悟
電話（0156）64－0618　　FAX（0156）64－6151
E-mail：moriyasu-satoru@hro.or.jp